

7 本時の学習(11/18時)

(1) 本時の目標

蜷川焼きを試食し合い、感じたことをもとにどのような工夫をしてきたのか話し合うことによって、おいしい「蜷川焼き」を作るための様々な工夫があることに気づき、さらにおいしい「蜷川焼き」作りへの意欲を高めることができる。

(2) 本時の展開

具体目標	予想される子供の追究活動と追究を深める教師の援助	評価の観点	
<p>自分たちのお好み焼きに対する仕上がりの満足度を自己評価できる。</p> <p>自分たちで作った蜷川焼きを試食し合い、おいしい蜷川焼きになっているかそれぞれの視点で話し合うことができる。</p> <p>話し合ったことをもとに、次時のめあてをもつことができる。</p>	<p>みんなが作った蜷川焼きを食べくらべよう。</p> <p>自分たちの作った「蜷川焼き」を試食し、自分たちのめあてに対する「蜷川焼き」の仕上がり具合について満足度を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生地に入れる水の量を考えて、ぐちゃぐちゃじゃない「蜷川焼き」にしたかったけど、今日はうまく作れたから、満足だよ。</li> <li>かりっと焼き上げたいと思っていたけど、ちょっと生焼けになったので、残念だったよ。</li> </ul> <p>他のグループの蜷川焼きを試食し合い、おいしいと思ったグループを2つ選んで、一覧表にシールを貼って投票する。</p> <p>各自の満足度と投票の結果を見比べながら、気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>班はおいしいと思ったけど、他の人も同じように思ったみたいで、シールを貼った人がいっぱいだよ。</li> <li>班の人は、みんなめあてどおりに作ったと思っているけど、シールを貼った人は少なかったよ。</li> <li>自分たちでは、あまりよくできていないと思ったけど、シールを貼る人が多かったのうれしかったよ。</li> <li>わたしたちのグループはうまくできたと思ったのに、あまりシールを貼ってくれない人がいなくてがっかりしたよ。</li> </ul> <p>どんな工夫をしたのかな。</p> <p>どうしてシールを貼ってくれなかったのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1回目は具が入りすぎてごちゃごちゃした味だったけど、グループで相談して、具を少なくしてみたよ。</li> <li>1回目は、水が多すぎてぐちゃぐちゃになったので、水の量をインターネットで調べたよ。</li> <li>班の人は、自分たちではおいしいと思っているかもしれないけど、キャベツがざくざくしていたので、もう少し細かく切った方がいいよ。</li> <li>お店に行って聞いてきたら、焼く時間をちゃんと計るといいと言われたよ。</li> <li>家の人に聞いたんだけど、生地は混ぜすぎるとかたくなるから、混ぜすぎない方がいいんだよ。</li> </ul> <p>自分たちの蜷川焼きをどうしたいか話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>うまく焼けなかったから、もう一度作り直したいな。</li> <li>けっこうおいしく焼けたけど、もうちょっと工夫したいな。</li> <li>おいしくできたから、もっとたくさんの人に食べてもらいたいな。</li> </ul> <p>もっとおいしい蜷川焼きを工夫しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ毎に、自己評価表を配り、自分たちの「蜷川焼き」に対して満足している場合にはシールを貼ることによって、自分たちのめあてがどの程度達成できたか、自己評価できるようにする。</li> <li>試食の前に、気付いたことについて話し合うことを知らせ、一人一人が自分の考えをもって話合いに参加できるようにしておく。</li> <li>投票した結果を基に、自己評価と友達の評価とを見比べることによって、どのような工夫をしたらおいしいと評価されるのかについて、切実感を感じられるようにする。</li> <li>調理の苦労や他の班の様子と比べたことなど、体験を想起しながら、具体的に話すようながし、どのような工夫をしたのかがわかるようにする。</li> <li>工夫について話すときに、店に取材に行った子供に対しては、取材の相手や、聞いてきたときの様子を話すようにうながし、地域の人と自分たちのつながりが意識できるようにする。</li> <li>話合いを基に子供たちが感じた願いを認め、実現するための方法を考えることによって、次時への意欲付けとなるようにする。</li> </ul>	<p>自分たちの作った「蜷川焼き」を客観的に味わったり、他の班の「蜷川焼き」と比べたりしながら、自分なりの視点で評価しようとする。</p> <p>(発言、シール)</p> <p>A 他のグループの「蜷川焼き」のできばえについてそれぞれの工夫したことを考え、味わいながら、自分たちのものにも生かそうとする。</p> <p>B 自分たちの「蜷川焼き」のできばえについて、めあてどおりにできたか、工夫したことが生かされているかを考えながら食べ比べている。</p> <p>C 自分たちの作った「蜷川焼き」を試食し、食べ比べている。</p> <p>みんなで作った「蜷川焼き」を食べ比べて思ったことについて、友達の評価もまじえて考えることができる。(発言)</p> <p>A 自分の判断の根拠がどこにあるかを、具体的に明らかにし、次の活動に生かす。</p> <p>B 友達の考えを聞き、自分の考えを見直したり深めたりできる。</p> <p>C 友達の考えを聞き、自分たちのグループの「蜷川焼き」の問題点に気づくことができる。</p>